

# 第15回

# アシストJP1ユーザ会 西日本支部

# 開催報告



開催日：2016年10月21日（金）

会場：株式会社アシスト 西日本支社 セミナールーム



第15回JP1ユーザ会西日本支部では、いま注目を集めているRBA（Run Book Automation）のツール選定ポイントや、JP1/AJS3とOSSの比較検証結果についてアシストよりご紹介しました。また、アシストJP1ユーザである村田製作所様より、ジョブ運用の標準化や業務効率化のコツについて事例発表を行いました。セミナー後の懇親会では、ユーザの皆様、開発元 日立製作所、アシストとともに交流を深めていただきました。

## 今年RBAを導入するならこのチョイス

～オペレーション自動化製品の検討に向けて～

“攻めの運用”を目指すためにも、RBA活用は有効な手段であり、さらなるビジネスへのチャレンジとなります。

運用部門が抱える課題への対策として、RBAの検討や具体的な取り組みが実施されています。

セッションでは、実例を交えながら運用業務の工数削減／品質維持／スピードアップなど導入効果を紹介。

RBAツールの機能やテンプレートの特徴からツールの選定ポイントを挙げ、RBA適用の様々な障壁を乗り越えるためのアプローチ手法を解説しました。



株式会社アシスト  
漆戸 和哉

## JP1/AJS3はOSSに置き換えられるのか?!

～ジョブ運用に必要な機能面／安定性／性能面を徹底比較～

システム監視の分野ではOSSの採用が増えています。OSSはジョブ運用の分野でも使えるのでしょうか？セッションでは、システムの安定稼働を支えるために必要な要素をもとに、JP1とOSSを比較検証しました。どのような観点でツールを選定すべきかを再確認し、OSSの実体とJP1の優位性について解説しました。



株式会社アシスト  
佐野 弘明



株式会社アシスト  
若月 完

また、JP1とOSSの比較検証結果をデモンストレーションを交えながらご紹介しました。

■検証項目：インターフェイス／性能／セキュリティ／構築／開発・設計／テスト／運用

## 基幹システムのJP1運用事例発表

株式会社村田製作所  
情報システム統括部 情報技術企画部 情報技術・品質保証課  
中岡 憲昭 様



村田製作所様では、グローバル基幹システムにおいて、1日10万件を超えるようなジョブ実行環境でのジョブ運用標準化を行っています。セッションでは、ジョブ運用の課題や対策、ツール活用による業務の自動化／プロセス管理、海外拠点におけるジョブ運用について発表頂きました。

<ジョブ運用の課題>

- 障害発生時のオペレータ負荷の削減
- 管理業務や障害発生時の報告書／起票負荷の低減
- ジョブ定義の抽出や変更業務負荷の低減

<JP1ジョブ実行性能の健全性>

JP1/AJS3リスクアセスメントサービスによる調査結果から、ジョブの遅延状況やキューイング時間をもとに、システムの現状把握を行いました。

また、JP1トラブル対策の事例として、「千里眼」活用による複雑なジョブネットの処理経路（クリティカルパス）の検索や、ファイル監視ジョブや標準出力／標準エラー出力ファイルのキューイング解消方法について解説しました。さらに開発元である日立製作所様へのJP1機能拡張の要望や、自社システムの今後の取り組み課題についても提言して頂きました。



- 自社業務に重なる部分が多々あった
- ユーザの意見が聞いて大変参考になった

- JP1ユーザの生の声が聞いて活用できる点があった
- 自動化や改善ポイントを検討するヒントになった